

甲斐信濃夜涼の星座分ちあふ

藤田湘子

平成六年十月号、鷹三十周年記念号に掲載された千曲川吟行五十句の最後に置かれた句。句集『神楽』の前書には、川上村四句とある。川上村は長野県南佐久郡にあり、千曲川源流の地である。甲斐信濃、現在の山梨県と長野県の県境あたりの山の景であろうか。

満天の星を仰いだ時の感慨であつたとしても、そのはるけき思いは、甲斐信濃の歴史へと思いを馳せる。

空は広くて遠い。一つしかない月を、日本全国の人が見つめるほどの広さと遠さである。かつては戦に分断された土地の星空は、大きく等しく、両国の上に星座を分かち合っていると感じた。何と壮大なロマンに満ちた発想。天も地も「夜涼」を分かち合う山国の夜である。